【平成28年度】

「国文祭・障文祭なら2017号」

「第３２回国民文化祭・なら２０１７」「第１７回全国障害者芸術・文化祭なら大会」は、９月１日から１１月３０日の３ヶ月間行われ、日本文化のはじまりの地、奈良に全国から様々な文化芸術活動を行う多くの人が集まり、日頃の活動成果や交流を図る国内最大級の文化の祭典です。これまではオリンピック、パラリンピックのように、それぞれ別々に行われていましたが、奈良県ではこの二つの催しを全国初の取り組みとして、一体的に開催いたします。この大会の開催を全国に発信していく方法の一つとして、ロゴマークや「国文祭・障文祭なら２０１７」ＰＲ用の装いである紋付袴姿のせんとくんを配したラッピングトラックとしています。

（平成２９年１１月３０日まで走行）

「なら食と農の魅力創造国際大学校号」

奈良県の農業振興を図るためには、農産物の高付加価値化が重要な課題となっています。そのため、県では、農業の６次産業化の推進と奈良の美味しい「食」づくりを進めて参りました。この取組みをさらに推進するため、農業の６次産業化の実践を担う人材育成の拠点として、奈良県農業大学校に「農に強い食の担い手」を育成する「フードクリエイティブ学科」を新設し、「なら食と農の魅力創造国際大学校」（通称：ＮＡＦＩＣ：ナフィック）として再編、平成２８年４月に開校しました。なら食と農の魅力創造国際大学校では、これまでにない実学教育で、生産・調理・加工・流通などを担う次世代の「食」と「農」のトップランナーを育成します。

【平成27年度】

「奈良県の伝統工芸号」

奈良を代表する伝統工芸である高山茶筌・奈良筆・赤膚焼・吉野手漉き和紙等は、永い歴史の中で培われた技術と伝統を現代に伝え、私たちの生活に潤いを与えてくれています。中でも「国指定伝統的工芸品」である「奈良筆」は、今から１２００年前、唐に渡った空海が筆作りの技法を日本に持ち帰り大和の国で広めたと言われており、また、同じく「国指定伝統的工芸品」である「高山茶筌」は奈良の地において茶道の礎を築いた村田珠光の侘び茶の普及と共に発展し、室町後期から約５００年の歴史を持っています。これらの歴史深い奈良県の伝統工芸品を全国の方々に興味を持って頂く方法の一つとして、ラッピングトラック事業を実施致しました。

「漢方薬ゆかりの地号」

近年、予防医学の意義が再認識されつつあり、「未病を治す」漢方が世界的に注目を集めています。漢方や生薬製剤について、奈良時代にまで遡る文化的・歴史的厚みや、地場産業として配置薬業が発展してきた奈良県。なかでも生薬としては、代表的な婦人薬であるヤマトトウキは１７世紀中頃から大和などで自生していたものを栽培し利用されてきました。また、奈良時代に渡来した薬用植物のシャクヤクやアカヤジオウは、奈良県に縁のある薬草で、ジオウは橿原市に「地黄町」という地名が今なお残っています。こうした奈良県に古くからゆかりのある生薬の栽培と普及に力を注ぐ奈良県を全国にアピールする方法の一つとして、ラッピングトラック事業を実施致しました。

【平成26年度】

「奈良の木ブランド号」

奈良の木をつかおう！

この森林は、吉野郡川上村にある樹齢３００年近いスギの人工林です。日本の三大人工美林の一つに数えられ、吉野材として高級建築部材などに利用されてきました。

奈良県は、吉野材に代表される高級材の産地として、古くから建築用材を専門に製材する工場が各地に集積しています。

しかし、近年、住宅着工戸数の減少や住宅様式の洋風化などの影響で、これまで得意としてきた高級建築部材が売れない厳しい状況にあります。

そのため県では、これまでの「高級材を選んで出す林業」から「根本の太い部分から細い幹まで全てを搬出して多用途に供給する林業」へ転換し、製材・加工・流通での受け皿の確保と競争力ある木材産業を構築するとともに、マーケットでの県産材製品の流通拡大を実現するための取り組みを進めることとしています。

このため、建築物などでの利用拡大を進めるためのＰＲ活動を実施し、高級材の需要が見込める首都圏等への売り込みにも力を入れています。

これらの取り組みを全国に発信していく方法の一つとして、「奈良の木をつかおう！」と題したラッピングトラック事業を実施致しました。

「春日大社式年造替号」

春日大社 第六十次式年造替

春日大社は、奈良時代の７６８年に鹿島神宮の武甕槌命（たけみかづちのみこと）、香取神宮の経津主命（ふつぬしのみこと）と枚岡神社の天児屋根命（あめのこやねのみこと）・比売神（ひめがみ）をお迎えして御蓋山のふもとに創建されました。

「式年」とは「定まった一定の年限」、「造替」とは「社殿を造り替える」という意味です。神さまが引っ越しされることを「遷宮」といいますが、春日大社では本殿の位置は変えずに、建て替え、あるいは修復を行うため「造替」といいます。

創建以来１２００年にわたって御殿の建て替えと御神宝の新調がほぼ２０年に一度、繰り返し行われてきました。

第六十次という区切りとなる式年造替の行事を全国に情報発信する方法の一つとして、ラッピングトラック事業を実施致しました。

（平成２８年１１月６日まで走行）

第３４回全国豊かな海づくり大会～やまと～

主　　催　豊かな海づくり大会推進委員会
　　第３４回全国豊かな海づくり大会奈良県実行委員会
後　　援　農林水産省、環境省
開 催 日　平成２６年１１月１５日（土）、１６日（日）
開催場所　吉野郡大淀町、吉野郡川上村、五條市、橿原市

大会テーマ

ゆたかなる　森がはぐくむ　川と海

ラッピングトラック走行の趣旨

公益社団法人奈良県トラック協会は、物流の基幹産業であるトラック運送事業の適正な運営を確保し、事故防止を図りながら、事業の社会的地位の向上を目的としています。
第３４回全国豊かな海づくり大会の協賛団体として、奈良県のさかな（きんぎょ、あゆ、あまご）や、安全性優良事業所（Ｇマーク）をラッピングしたトラックが走行しました。

（平成２６年１１月１６日まで走行）

【平成25年度】

「ラッピングトラックコンセプト」

奈良と聞いて連想するものと言えば、平城宮跡や鹿が群れ遊ぶ奈良公園、世界遺産や東大寺を始めとする数多くの寺院などではないでしょうか。もちろんこれらは奈良の顔であると言えます。しかし奈良は、弥生時代から現代に至るまで連綿と続く永い歴史が積み重なり育くまれた地であり、私たちにはまだまだ知って頂きたい事がたくさんあります。たとえば、大台ケ原に代表される県南部吉野地方の大いなる自然、また多くの伝統工芸や各地の祭り、奈良が誇る数々の特産品など、まさに宝庫であると言えます。
奈良をもっと知ってほしい。様々な顔の奈良を見て・触れて・味わって頂けるきっかけになればとの想いから、「奈良県トラック協会」に加盟する富士運輸の１５ｔ大型トラックボディーに「夢・食・出逢い」の三種類のテーマでラッピングを施し、北海道から九州まで全国各地を実際に輸送トラックとしてくまなく走り、たとえば高速道路のサービスエリア、国道の交差点での信号待ちなどで偶然にこのトラックと出会った方々に奈良を印象付け、興味を持って頂き、ふたたび奈良に来て、新しい奈良を知って頂くきっかけになればと考え企画いたしました。

ラッピングトラックについて

「夢はこぶことなら（古都奈良）」

奈良にまつわる言葉での「知り取り（しりとり）」。鹿からスタートした言葉は「青丹よし奈良の都は咲く花の薫うがごとく今盛りなり」の歌で終わります。奈良県各地の地名や特産品、奈良にまつわる言葉などで構成。また、「夢はこぶことなら」は奈良から全国に走るトラックが「古都奈良から夢を運ぶ」にかけたものです。

●イメージカラー／黄蘗色（きはだいろ）

この色は奈良薬師寺の魚養経、長屋王が書写した大般若波羅蜜多経など、経典の料紙は黄蘗で染められており、この色を言います。黄蘗には防虫効果があり、正倉院にも公文書用の黄染紙が保存されています。

「美味しい古都奈良」

奈良県発祥である「お茶」。また奈良県は、「あすかルビー」をはじめとした大変美味しい苺の産地です。中でも奈良で生まれた新品種「古都華」はとても美味しく、全国の人々に自信を持ってその味を伝えて行かなければなりません。「奈良にうまいものなし」と、これまで奥ゆかしく謙遜していた私たちは「奈良にうまいものあり！」「美味しい事なら（古都奈良）」と堂々と発信するべきと考えます。

●イメージカラー／若菜色（わかないろ）

邪気を払うという習わしが中国からもたらされた七草粥。その七草（セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロ）の色を言います。

「あなたと奈良の縁結び」

奈良県下に１０,１６８台あるトラックの中でわずかに７台のラッピングトラック。とても珍しいこのトラックと出逢えた方は「奈良とご縁がある特別な人」であることから、これをご縁に是非奈良にお越し頂き、人との出逢い。歴史との出逢い。食との出逢いを楽しんで頂きたいと言う思いが込められています。

●イメージカラー猩々緋（しょうじょうひ）

能の演目『猩々』の役者の面や装束が鮮やかな赤色であることからこの色名があります。能楽発祥の地、奈良にふさわしい赤色であり、情熱の赤は奈良との縁結びの想いが込められています。

「夢はこぶことなら」
奈良をテーマの知り取り解説

●鹿…奈良公園と周辺に約 1100 頭生息する国の天然記念物。
●香久山…橿原市にあり、畝傍山・耳成山とともに大和三山と呼ばれる。
●纒向（まきむく）…女王卑弥呼が治めていた地。桜井市にあります。
●百済（くだら）…朝鮮半島にあった国。倭国と盛んに交流。
●螺鈿細工（らでんざいく）…奈良時代に唐から輸入され、後に伝統工芸に。
●葛湯（くずゆ）…県南部、吉野地方の吉野本葛が有名。
●ゆうべし…十津川村が有名。柚風味の餅菓子。
●聖林寺…桜井市にある寺。国宝の十一面観音立像が有名。
●十一面観音像…奈良時代から信仰を集め、多く祀られる。
●歌姫…平城京の宮中で雅楽を奏で踊る女性たちが住んだ地名。
●めはりずし…吉野地方の郷土料理。高菜の浅漬けの葉でくるんだおにぎり。
●正倉院宝物…聖武天皇・光明皇后ゆかりの品。毎年秋に公開される。
●月ヶ瀬…奈良市東部山間に位置し、梅林や大和茶で有名。
●青銅鏡…国産の三角縁神獣鏡は卑弥呼の鏡とも言われる。
●畝傍山（うねびやま）…橿原市にある大和三山のひとつ。
●勾玉（まがたま）…古墳などで出土する古代の装身具。
●万葉集…日本に現存する最古の和歌集。
●采女神社（うねめじんじゃ）…奈良市の猿沢池の横にある神社。
●大和…ヤマト王権が大和と呼ばれる地。現在の奈良県。
●多武峰（とうのみね）…桜井市南部にある山や、その一帯にあった寺院。
●練粕（ねりかす）…奈良粕とも言われる酒粕。
●朱雀（すざく）…中国の伝説上の神獣で南を守る。平城京朱雀門。
●久米寺…橿原市久米町にある寺院。
●螺髪（らほつ）…仏像の丸まった髪の毛の名称。
●都祁…奈良県北東部にかつて存在した村。現在は奈良市。
●玄奘三蔵…中国の僧。遣唐使の道昭は、玄奘三蔵に教えを受ける。
●宇陀…奈良県東部、宇陀市および宇陀郡周辺を指す地域名称。
●大仏…東大寺大仏殿の盧舎那仏。
●角細工…鹿の角切りで切られた角を利用した奈良の伝統工芸。
●救世観音像（くぜかんのんぞう）…法隆寺夢殿の救世観音が有名。
●団扇（うちわ）…天平模様の透かし彫りなど、奈良の伝統工芸。
●若草山…毎年 1 月に山焼きが行われる。奈良を代表する山。
●真菜…奈良の伝統野菜。漬け菜として利用される。
●なら燈花会…8 月上旬に、奈良公園一帯で開催される灯りの行事。
●役行者（えんのぎょうじゃ）…修験道の開祖とされる。
●柳生…奈良市東部山間、柳生を治めた藩。将軍家の剣術指南役。
●芸亭（うんてい）…日本で最初の公開図書館とされている施設。
●一刀石…柳生宗厳が、天狗だと思い一刀のもとに切り捨てた巨石。
●北山十八間戸…鎌倉時代に奈良につくられた福祉施設。
●灯籠…灯籠の基本となるのが春日型灯籠。
●浮穴…大和高田市に存在するとても古い町名。
●奈良漬…平城京出土の木簡にも「粕漬瓜」との記載がある。粕漬け。
●蹴鞠（けまり）…桜井市談山神社で春秋に行われる行事。
●霊山寺（りょうせんじ）…奈良市西部の真言宗大本山の寺院。バラで有名。
●地蔵菩薩…奈良県下に点在する十ヶ寺の地蔵菩薩が有名。地蔵十福。
●椿井…ならまちにある地名。
●石舞台…奈良県明日香村にある古墳時代後期の古墳。
●石上神宮（いそのかみ）…最古の道「山の辺の道」の中間に位置する神社。
●馬見丘陵…奈良公園に次ぐ県内 2 番目の広域公園。
●菟田野…古事記、日本書紀に記載が散見される宇陀地域の地名。
●野迫川…吉野郡南部にある村名。
●和爾下神社（わにした）…天理市に位置し古墳の後円部上に建てられた神社。
●八釣の里…明日香村にあり、撮影ポイントとして有名。
●十津川郷士…十津川郷に在住していた郷士集団 。
●聖徳太子…法隆寺を創建した日本仏教興隆の祖。
●下ツ道…7 世紀中頃に、奈良盆地を南北に走っていた大道。
●茶飯…米にほうじ茶を加えて炊き上げた郷土料理。
●入之波（しおのは）…吉野郡川上村にある温泉。
●初瀬…昔はお伊勢参りをする人たちで賑わった。桜井市の地名。
●千尋の滝（せんひろのたき）…奈良県吉野郡上北山村にある滝。
●金峯山寺…さくらの名所吉野町にある修験道の本山。
●十二神将…奈良市新薬師寺の等身大の十二神将像が有名。
●運慶…興福寺を拠点に活動していた奈良仏師康慶の子。
●斑鳩（いかるが）…生駒郡斑鳩町法隆寺を中心とした地域名。
●雅楽…中国から伝わり日本で花開いた伝統的な音楽の一つ。
●九品寺…御所市楢原にある浄土宗の寺院。
●持統天皇…飛鳥時代の第 41 代天皇。
●鴛塚…若草山の山頂に所在する古墳で国の史跡。
●唐古遺跡…田原本町にある弥生時代の環濠集落遺跡。
●吉祥天女…奈良時代の吉祥天の画像で、薬師寺に所蔵されている。
●吉野…奈良県南部一帯の地名。
●野槌…奈良に伝わる妖怪。「野の精霊（野つ霊）」の意。
●茶室…侘び茶の祖、村田珠光は奈良の人。
●坪杓子（ちゃしゃくし）…五條市大塔の伝統工芸。お玉。
●漆器…奈良は日本の漆器の発祥の地といわれています。
●記紀万葉プロジェクト…古事記・日本書紀編纂の地奈良県でのプロジェクト。
●唐招提寺…奈良市西の京にある鑑真が建立した寺院。
●自天王…南朝の再建を図った後南朝の最後の指導者。
●浮見堂…奈良公園鷺池に浮かぶ八角堂形式のお堂。
●浮雲園地…東大寺に隣接する奈良公園内の園地のひとつ。
●ちがや団子…御所市方面で作られて来た団子。
●後醍醐天皇…吉野で南朝を樹立した天皇。
●鴬替神事…奈良市の菅原天満宮において行われる神事。
●十三仏…奈良県には 13 の仏菩薩を祀る寺院からなる霊場がある。
●壺阪…西国観音霊場の第 六番札所壺阪寺がある。
●環濠集落…水堀をめぐらせた弥生時代の集落跡。
●黒髪山…奈良市北部にある丘陵。
●真土峠…万葉集で詠われた五條市と和歌山の間にある丘陵。
●玄武…明日香村キトラ古墳の石室に描かれた玄武が有名。
●仏教伝来…6 世紀半ば、百済から倭への仏教公伝のこと。
●今井…江戸時代の町家が多く保存されている橿原市の町。
●雷（いかずち）…明日香村にある丘。柿本人麻呂の歌が有名。
●中央アジア…シルクロードの終着点である奈良とゆかりの深い国々。
●青丹よし奈良の都は咲く花の薫ふがごとく今盛りなり…
万葉集に収められている奈良を代表する小野老の歌。

奈良県トラック協会

美味しい古都奈良

●**奈良のいちご**…大きくてつやがあり鮮やかな赤色でジューシーな「アスカルビー」、濃い赤色で光沢があり、味が濃厚で香りの強い「古都華」は共に奈良生まれ。
●**大和茶** …大同元年（806 年）、弘法大師が中国から持ち帰った種から大和茶の歴史が始まり、大和高原を中心に栽培されています。
●**奈良の柿**… 300 年以上の歴史を持つ「御所柿」、奈良県発祥の「刀根早生」の他、「平核無」、「富有」など、7月から１２月にかけてリレー出荷されます。
●**大和肉鶏**…大正時代から昭和にかけて「大和かしわ」として親しまれていた肉鶏を復活。適度な脂肪と弾力性のある歯ごたえのある肉質が特徴。
●**大和まな**…小松菜、しろなの仲間で、わが国で最も古い野菜のひとつ。葉は大根葉に似ており、独特の風味や甘みを有します。
●**大和丸なす**…つやのある紫黒色で丸い形状。へたに鋭いとげがあるのが特徴。肉質は良く締まり、煮崩れしにくく、焼いても炊いてもしっかりとした食感があります。
●**大和芋**…球形で凸凹が少なく、表皮は黒い。肉質は緻密で、粘りが強い。江戸時代から奈良県で栽培されており、和菓子の材料としても重宝されています。

まだまだこんなに美味しい食べ物

●柿の葉寿司 ●奈良茶飯 ●あすか鍋 ●大和牛 ●大和ポーク
●伝統野菜（大和まな／千筋みずな／宇陀金ごぼう／ひもとうがらし／軟白ずいき／大和いも／祝だいこん／結崎ネブカ／小しょうが／花みょうが／大和きくな／紫とうがらし／黄金まくわ／片平あかね／大和三尺きゅうり／大和丸なす／下北春まな／筒井れんこん

あなたと奈良の縁結び

私に出逢ったあなた！私は奈良県内に10,168台あるトラックの中でわずかに７台のラッキートラック。
こんなに珍しいトラックと出逢えたあなたは奈良にとても縁がある人ってことですね。奈良に遊びに来てくれたらもっといい出逢いが待ってるはず！ 絶対来てね！